

DNP

大日本印刷

# am/pmのレジ袋

## 焼却時のCO<sub>2</sub>排出半減

### ナノ技術使った来春めど全店で薄素材利用

コンビニエンスストア CO<sub>2</sub>の削減目標の達成 エチレンの使用削減を合  
 チェインのエエム・ピ を發揮する。 わせ、およそ半分程度に  
 エエム・ピ(アム)am このポリエチレンは微 CO<sub>2</sub>の発生を減らせる。  
 /pm)は今月下旬から、 細な強化剤を均一に拡散、 東証一部上場のスーパ  
 焼却時に発生する二酸化 させる最新ナノ技術を探 ーバッグなど三社が中国  
 炭素(CO<sub>2</sub>)が従来に 用、薄型化を可能にした。 などの工場でレジ袋に加  
 比へ半減するレジ袋の利 レジ袋の厚さはこれまで エし、am/pmが購入  
 用を始める。まず首都圏 大きさに応じて十三割 する。店舗で使うレジ袋  
 の店舗に導入し、来春春 (約は百万分の二)も三五―三〇%薄肉化し  
 までに約千三百の全店舗 六割に達したが、一律十 たものに変更。原油高で  
 で利用する。 二割に達する。このため ポリエチレン価格が上昇  
 ナノ技術開発のアイト ポリエチレン使用量を八 しているため、いずれも  
 リックス(東京・池、長 一三五%削減できる。 単価は五―一〇%割安に  
 谷川正治社長)が開発し、 さらに酸素を吸着しや なるという。  
 た薄く伸ばしても強度を すい物質が導入されてお ンビニ業界では一〇  
 保つポリエチレンを探 かり、焼却時にはこの物質 年度に〇〇年比でレジ袋  
 用。レジ袋は使用後に焼 がポリエチレンの中の炭 の重量を三五%減らす目  
 却されるケースが多く、 素より先に空気中の酸素 標を示している。新たな  
 同社は家庭などのCO<sub>2</sub> と反応。炭素はCO<sub>2</sub>で 袋を導入することで、a  
 ・排出を年三千ト減らす はなく、灰になる割合が m/pmは〇八年度中に  
 効果があるとみている。 増え、CO<sub>2</sub>の発生量は も、目標を達成する見込  
 京都議定書で定められた 三五―四〇%減る。ポリ みた。